

# 発 言 通 告 書 要 旨 （1枚目／全3枚）

氏 名 一色 眞一

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
1			<p>物価高対策について</p> <p>今般の補正予算案には、市民生活を守るべき大きなテーマである物価高対策が盛り込まれていない。</p> <p>今、市民はとどまることを知らない物価高に、精一杯の節約をして、何とかしのいでいるのが現状だ。そのような日々を暮らしている市民の生活実態を当局は認識しているのか。</p> <p>国や県の施策を待っているのではなく、加賀市独自の施策を打ち出して、市民生活を守っていただきたい。</p> <p>6月定例会で、当局は「これら一連の物価高騰に対するさらなる負担軽減策についても、新たな給付制度や税、料金の軽減など、状況に応じ、必要と判断した際には、速やかに対応できるよう検討してまいりたい」と答えているのだから、今こそ直ちに実行すべきではないか。</p>	
2	(1)		<p>米価高騰について</p> <p>緊急支援策について</p> <p>物価高の今こそ、市政には市民の暮らしを緊急対策で支援することが求められている。この声を受け止め、市民の暮らしを支援する緊急対策を補正予算の柱に据えるべきと考える。</p> <p>そこで、市民が安心して加賀市産のお米を購入できるよう、市の事業として、全世帯に「お米券」を配付することを提案する。</p> <p>お米券は、市内の米穀店やスーパーなどで利用でき、使い勝手がよいものとし、さらに子供食堂などへの支援策としても利用できるようにしてはどうか。</p> <p>お米券の配付は加賀市の経済対策の一助になると思う。ぜひ実施してもらいたいが、見解を問う。</p>	
	(2)		<p>本市における米価の状況について</p> <p>日本共産党は、令和5年産米が不足し始めた令和6年6月から備蓄米を放出するべきであると訴えてきた。しかし政府は、令和6年産米が出回れば米価が落ち着くとの見解を示し、備蓄米の放出をしなかった。令和6年産米が出回っても、なお価格高騰が収まらない中で、今年3月半ばから備蓄米が放出された。</p> <p>市民は、銘柄米が以前の価格になることを望んでいる。米価高騰により市民の生活に影響が生じていることと思うが、本市における米価の状況について問う。</p>	

# 発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全3枚)

氏 名 一色 眞一

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
	(3)	<p>米価高騰の要因について</p> <p>米価高騰を招いた政府の政策として、1点目に、事実上の減反と低米価を押しつけ、米の価格と流通を市場任せにしたこと、2点目に、米農家への所得補償 10 アール当たり 1 万 5,000 円を 2014 年に半減、2018 年には全廃し、年間 1,500 億円近い所得を米農家から奪ったことにある。</p> <p>市として国の農業破壊の政策に反対し、市民の命を支える食糧と農業を守る施策に全力を上げる必要があると考えるが、市独自の施策の展開について問う。</p> <p>また、所得補償制度の復活が必要と考えるが、所見を問う。</p>	
3		<p>未来型商業エリアについて</p> <p>山田市長を推した人達は、宮元市政を変えたいと願い、宮元前市長が進めていた未来型商業エリア開発には反対だったと聞いている。この民意を尊重するなら、市長のとるべき行動は明白で、この事業は止めると明言すべきと考える。</p> <p>各地のアウトレットの現状を見れば見るほど絶望的である。長野県須坂市のショッピングモールのように、インターチェンジが目の前にあり、商圈が広いところならいざ知らず、未来型商業エリアはインターチェンジから遠く、商圈が狭い加賀市では可能性は低いと考えるのが妥当ではないか。</p> <p>2017 年 3 月に鳴り物入りで開業したイオンモール新小松も当時の勢いはなく、撤退したテナントもいくつか出ている。当時の報道では、商圈を金沢市から福井県までと捉え、加賀産業道路からアクセスしやすいと盛んに持ち上げていたが、わずか 8 年でのこのような現状を見ると、加賀市の地権者も躊躇するのではないか。</p> <p>開発の前提条件としている地権者全員が開発への同意をしていない現在、前へ進めないのではないか。地権者の一人は、先祖代々引き継いできた農地をなくすのは嫌だとして同意する気配はない。</p> <p>客観的に見て開発の可能性があると云うのなら、何をもって開発の可能性があると云えるのか、具体的に示せ。</p>	
4		<p>加賀市再生プロジェクト推進事業について</p> <p>事業イメージとして、「官（行政）、産（産業界）、学（学術機関）、金（金融機関）、民（民間団体等）で「加賀市再生プロジェクト検討会」を構成し、市民からの意見（タウンミーティングやデジタル目安箱等）も取り入れ、改めて市の取組を検討する」とある。</p> <p>金融機関を組み込む意図について問う。あわせて、金融機関に何を期待しているのか。</p>	

# 発 言 通 告 書 要 旨 （3枚目／全3枚）

氏 名 一色 眞一

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
5			<p>加賀温泉駅全天候型広場施設の運営見通しについて</p> <p>令和8年春に完成予定の加賀温泉駅全天候型広場施設の開業後の運営見通しについて問う。</p> <p>今年の5月にサウンディング型市場調査を行い、その結果概要が公表されているが、この調査で出た意見や要望を実現すると、相当大規模な費用が必要になると思われる。</p> <p>また、指定管理者制度においては、市からの多額な管理委託料の支出も懸念される。</p> <p>そこで、次の点について問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間のランニングコストについて</li> <li>・指定管理者における収支の内訳について</li> <li>・市からの管理委託料について</li> </ul>	